

# 和室

見直したい  
日本の空

## 和室の魅力

今日の建設されております九割近くの住居に和室がありません、機能だけでなく心の安らぐ空間四季を感じる住まいの原点に戻り考えませんか。

畳の感触、湿度を一定に保つ漆喰壁、息をする障子紙、防音効果の良い襖、そ

して床の間にかかる一幅の掛け軸、季節に合わせ掛け替えることでその空間は意

限の世界へと誘います。

表具・襖・内装工事一式

経師 ひらいし

〒240-0041

横浜市保土ヶ谷区東川島町二〇一十九

TEL (045) 383-1603

FAX (045) 383-1603

きょうじ ひょうぐし  
経師 表具師とは

掛軸が中國 唐の時代に遣唐使らにより伝えられて千年余り、特に室町時代から江戸時代にかけ武士の時代に権力の象徴と茶の湯が好まれ発達しました。他に寢殿造り時の几帳が屏風や衝立に發展工夫されましたように表具経師の仕事は我が国独特の發展を遂げ先人からの知識や技術を継承し現代に育まれた技術も伝統を守りながら生活様式の変化に合わせて積み重ね次世代に受け継がれて行きます。

何が出来の？

山水画や墨跡の他仏画、曼荼羅などを掛け軸表装します。家系図、皆伝書、等を仕立てる巻物、それらを見やすく工夫した和綴じ本、画帖の製本。屏風も六曲屏風など使用目的に合わせ多種あります、衝立、額装それらの製作と仕立て直し、また本紙のしみ抜き洗い作業修復し表装する事で再び鑑賞できます。ふすまは組子骨を使い下張りを正規に行い制作しますと何時までも張り替え使用できます。障子も張ります お茶室など特殊な太鼓襖や障子 腰張り、金銀箔押し、砂子振りも経師の作業でもあります。一言で表せば糊と紙を使い貼る作業が経師表具師の仕事です。

願わくば

和室に係る職人は百種を超えます。和紙を漉く人、漆塗り、引手金物、組子木工、竹釘、真田紐、桐箱私共だけでも相当数が数えられます。それらが需要減少による後継者不足で廃業に追い込まれております。この現状は日本文化和室文化の廃退を意味致します。願わくば一部屋でも和室を取り入れた住まいの増えます事、和室の良さの再認識されます事を建築主様 設計者様すべての方に希望いたします。